

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	1,050	80×2=160 単位時間	
	美容科	夜・通信	1,050	80×2=160 単位時間	
衛生専門課程	プロスタイリスト科	夜・通信	1,480	80×3=240 単位時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公開
<https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/jitumukeikenshajugyou.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公開

<https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/rijimeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員 (H2. 04. 01～)	H17. 04. 01 ～ R11 年度の定 時評議員会 の終結の時	経営に関する助言
非常勤	会社役員 (S62. 04. 01～)	H31. 04. 01 ～ R11 年度の定 時評議員会 の終結の時	教育・生徒募集 に関する助言
非常勤	理容師 (H15. 04. 01～)	H15. 04. 01 ～ R11 年度の定 時評議員会 の終結の時	教育・カリキュラム に関する助言
非常勤	会社役員 (H29. 07. 01～)	R07. 06. 09 ～ R11 年度の定 時評議員会 の終結の時	人材育成に 関する助言
(備考)			

1.

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画は毎年1月から3月にかけて、新年度の各授業科目の講師体制が決定した後、既存の授業計画書を基に作成されます。その際には、教育課程編成委員会の意見や教科書の改訂などの事情を考慮しながら、新年度分の計画を決定します。年度初めの授業では、学生に対して授業計画の説明を行い、内容への理解を得るよう努めています。また、授業計画はホームページ上にも公開しています。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/info-disclosure/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目については、毎学期末に定期試験を実施し、その結果に基づいて厳格かつ適正な評価を行い、単位を付与しています。試験に不合格となった場合には、あらかじめ通知している追試日程に向けて補講を実施し、合格点に達するまで丁寧に指導を行うことで、全員が単位を取得できるよう最大限の努力をしています。また、学期ごとに担任および副担任が生徒一人ひとりと個別面談を行い、学習意欲や生活態度に変化が見られないか、細やかに注意を払いながら支援を行っています。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>試験結果に基づき、各教科および学年ごとにGPAを算出し、その分布状況を本校のホームページ上で公開しています。前述の追試験に向けた学習指導や個別面談の場においては、このGPAを参考に、生徒ごとに目標ラインを設定したり、成績ランクに応じた指導を行ったりしています。評点については、各学期末に実施される定期試験の結果に加え、出席状況や授業態度などを総合的に評価した上で採点し、通知表を通じて生徒および保護者に伝達しています。</p>	

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/GPA.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全課目において評価が「3」以上であることを卒業の必須要件とする。最終的な卒業の可否は、校長、学年主任、担任、事務局長で構成される「卒業判定会議」の審議を経て決定される。各課目の評価は、原則として期末試験の得点に基づいて決定される。ただし、試験結果に加えて授業への取り組み姿勢や出席状況などを総合的に勘案し、評価に反映する場合がある。なお、全ての課目において出席率が100%であることが原則であり、欠席がある場合には補習等によって当該時間数を補う必要がある。ただし、欠課時間数が以下の基準を超えた場合は、当該課目について評価を受けることはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を伴わない課目：授業時間数の3分の1を超えた場合 ・実習を伴う課目：授業時間数の5分の1を超えた場合 <p>また、期末試験において60点（評価3）に満たない場合でも、必要に応じて追試験の機会を設け、一定の条件のもとで再評価を受けることを可能とする。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2024/06/sotugyouninntei.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/taishakutaishou.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/jigyoutatudou.pdf
財産目録	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/jigyohoukokusho.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/kansahoukokusho.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,010 単位時間/単位	680 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	1,210 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	2,010 単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		58人	0人	12人	12人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 理容師養成施設指定規則に定める課目に則り、卒業時に国家資格取得を目指すとともに、現場との連携を密にし、現場で求められる即戦力の育成に繋がる内容を盛り込んでいく。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験結果に基づき、科目別および学年別に GPA を算出し、その分布状況については本校ホームページ上にて公開しております。追試験に向けた指導や個別面談においては、当該 GPA を基に、学生ごとの目標設定および成績ランクに応じた指導を実施しております。なお、評点につきましては、学期末試験の結果に加え、出席状況等を総合的に勘案のうえ、成績評価を行っております。
卒業・進級の認定基準
（概要） すべての教科・科目において「評価3」以上を取得することを進級・卒業の必須要件とし、最終的には校長、学年主任、担任、事務局長で構成される「卒業・進級判定会議」の議を経て、その可否を決定する。各教科の評価は、原則として期末試験の得点に基づいて決定される。ただし、状況に応じて授業態度や出席状況などを加味する場合がある。なお、すべての教科において出席率100%が求められる。欠席があった場合は補習により補うことが可能だが、欠席時間数が出席時間数の3分の1（実習を伴う教科・科目については5分の1）を超えた場合、補習の実施にかかわらず評価対象外となる。また、期末試験の結果が60点（評価3）に満たない場合であっても、追試験の受験により評価を得ることが可能である。
学修支援等
（概要） 担任、副担任、学年主任体制により日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払うとともに、できるだけ多くの教職員が関わることで相談のしやすさ・相手を選べる環境を創っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	23人 (85.2%)	4人 (14.8%)
（主な就職、業界等） 理美容業界（理容師、エステティシャン、グルーミニスト）			
（就職指導内容） アンケートや個別面談を通じ、各人の希望を把握するとともに、関連企業が運営する理美容サロンのポータルサイトや就職支援サイトを活用し、個別面接指導を中心に入社試験対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師国家資格（受験 27人 合格者 24人）			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
66人	3人	4.5%	
（中途退学の主な理由） 進路変更			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任・学年主任による体制のもと、日頃から学生一人ひとりの態度や変化に対してきめ細やかな注意を払い、必要に応じて個別面談を実施しています。また、保護者との連携も重視しており、状況に応じて保護者を交えた三者面談を行うことで、学生の状況を共有し、より良い支援に努めています。さらに、退学を希望する学生に対しても、退学後の進路や将来のビジョンが明確でない場合には、可能な限り休学を勧め、将来的な復学の選択肢を残すよう配慮しています。			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,010 単位時間/単位	680 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	1,210 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,010 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		190人	0人	15人	14人	29人	
カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)							
(概要) 美容師養成施設指定規則に定める課目に則り、卒業時に国家資格取得を目指すとともに、現場との連携を密にし、現場で求められる即戦力の育成に繋がる内容を盛り込んでいく。							
成績評価の基準・方法							
(概要) 試験結果に基づき、科目別・学年別に GPA を算出し、その分布状況については本学ホームページ上に公開しております。追試験に向けた指導や個別面談等においては、GPA を参考指標として目標設定を行い、成績ランクに応じた指導を実施しております。なお、評点については、学期末試験の結果に加え、出席状況等を総合的に勘案したうえで評価・採点しております。							
卒業・進級の認定基準							
(概要) 全課目において評価が3以上であることを必須とし、最終的に校長、学年主任、担任事務局長で構成する卒業・進級判定会議の議を経て決定する。 評価は、原則として期末試験の点数に応じて決定し、状況によっては授業態度や出席状況を加味する場合もある。 但し、いずれの課目も出席率が100%であることが必要であり、補習を行うことで補うことができるが、欠席時間数が出席時間数の3分の1(実習を伴う教科課目にあっては5分の1)を超えた場合は補習の実施如何に関わらず、評価を受けることができない。尚、試験結果が60点(評価3)に満たない場合は、追試により評価を得ることは可能である。							
学修支援等							
(概要) 担任、副担任、学年主任体制により日頃の学生の態度や変化にきめ細かい注意を払うとともに、できるだけ多くの教職員が関わることで相談のしやすさ・相手を選べる環境を創っている。							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
102人 (100%)	3人 (2.9%)	87人 (85.3%)	12人 (11.8%)
（主な就職、業界等） 理美容業界（美容師、アイスタイリスト、ネイリスト）			
（就職指導内容） アンケートや個別面談を通じ、各人の希望を把握するとともに、関連企業が運営する理美容サロンのポータルサイトや就職支援サイトを活用し、個別面接指導を中心に入社試験対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格（受験 101人 合格者 97人）			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
202人	19人	9.4%	
（中途退学の主な理由） 進路変更			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任・学年主任による体制のもと、日頃から学生一人ひとりの態度や心身の変化に対して細やかな観察と配慮を行っております。必要に応じて個別面談を実施し、学生の状況を的確に把握するとともに、保護者との連携を密に図ることで、家庭との情報共有を徹底しております。状況に応じては、保護者を交えた三者面談を行い、より適切な支援体制を整えております。また、退学を希望する学生に対しては、将来の進路や目標が明確でない場合などには、安易な退学に至らぬよう慎重に対応しております。可能な限り休学を勧め、復学の選択肢を残すことで、学生の将来の可能性を広げる支援に努めております。			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	プロスタイリスト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,430 単位時間	225 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	2,145 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,430 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		37人	0人	10人	3人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>高校卒業後に理美容サロンへ就職した新入社員に対し、サロン業務に必要なマナーや接客術を指導するとともに、国家資格を必要としない施術（ヘッドケアやネイルケアなど）を中心に実践的な技術を習得させる。これにより、習得した技術を即戦力として現場で活用できるようにし、職場での自己の居場所を確立させると同時に、仕事へのやりがいや達成感を育む。結果として、職場への定着率の向上と、さらなる技術習得への意欲の醸成を目指す。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>試験結果に基づき、科目別および学年別に GPA を算出し、その分布状況を本学ホームページ上にて公表しております。また、追試験に向けた学習指導や個別面談においては、GPA を参考指標として活用し、目標値の設定や成績ランクに応じた指導を実施しております。成績評価については、学期末試験の結果に加え、出席状況等を総合的に勘案し、適切に評点を決定しております。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業および進級の判定にあたっては、全課目において評価が 3 以上であることを必須条件とする。最終的な判断は、校長、学年主任、担任、事務局長により構成される「卒業・進級判定会議」の議を経て決定するものとする。各課目の評価は、原則として期末試験の得点に基づいて決定する。ただし、必要に応じて授業における態度や出席状況等を総合的に勘案することがある。また、いずれの課目においても出席率が 100% であることが原則要件とされる。補習の実施により一定の欠席を補うことは可能であるが、欠席時間数が出席時間数の 3 分の 1 を超える場合（実習を伴う教科・科目にあっては 5 分の 1 を超える場合）には、補習の有無にかかわらず当該課目の評価は行わないものとする。なお、期末試験の得点が 60 点（評価 3）に満たなかった場合であっても、追試験の実施により評価の取得が可能である。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担任、副担任、学年主任による体制のもと、日常的に学生の態度や行動の変化に対してきめ細やかな観察と対応を行っております。また、できる限り多くの教職員が学生と関わることにより、学生が相談しやすく、また相談相手を自由に選べる環境づくりに努めております。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等） 理美容業界（高校卒業後、理美容サロンに就職した者が入学対象である）</p>			
<p>（就職指導内容） 既に理美容サロンに就職した者が学ぶ科であり、就職指導を必要としない</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格（受験 12人 合格者 10人）</p>			
<p>（備考）（任意記載事項） 併用している通信課程を受講しているため</p>			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
40人	6人	15%	
<p>（中途退学の主な理由） 進路変更</p>			
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任および学年主任による体制のもと、日常的に学生の生活態度や行動の変化等についてきめ細やかな観察を行い、必要に応じて個別面談を実施しております。また、保護者との連携を重視し、状況に応じて保護者を交えた三者面談を行うなど、学生の支援に努めております。さらに、退学を希望する学生に対しては、退学後の進路が明確でない場合には、可能な限り休学を提案し、将来的な復学の可能性を確保するよう配慮しております。</p>			

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	180,000 円	(610,000 円)	590,000 円	() 内は1年次の年間授業料
美容科	180,000 円	(610,000 円)	640,000 円	() 内は1年次の年間授業料
プロスタイリスト科	180,000 円	(520,000 円)	280,000 円	() 内は1年次の年間授業料
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・本来、半期払いのところを希望者には日本学生支援機構奨学金の貸与を条件に月次分割払いにも対応している。 ・AO入試特典 教材費 40,000 円免除 ・指定校推薦入試特典 教材費 40,000 円免除 ・家族入学特典 (卒業生・在校生) 2年目教材費 40,000 円免除 ・友人入学特典 (3名同時入学) 2年目教材費 40,000 円免除 ・2世入学特典 (理美容サロンオーナーご子息・ご令嬢) 2年目教材費 40,000 円免除 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会の提言を踏まえ、学校運営や教育活動等ガイドラインの各評価項目について改善する等により、学校の「質」の向上を図ることを基本方針とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本理容美容協同組合	2016年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
アクティブグループ	2016年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
株式会社 NAVI	2016年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
有限会社セサンク	2024年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
株式会社ダリア	2016年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員

株式会社スマートスタイル	2016年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
株式会社 ZENON	2016年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2025/06/jikohyouka.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nhc.ac.jp/info-disclosure/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H127310001897
学校名 (〇〇大学 等)	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人いわお学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		98人 () 人	85人 () 人	98人 () 人
内 訳	第Ⅰ区分	64人	51人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅱ区分	- 人	20人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅲ区分	14人	- 人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	- 人	- 人	
	区分外 (多子世帯)	0人	- 人	
家計急変による 支援対象者 (年間)				- 人 () 人
合計 (年間)				99人 () 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	- 人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	- 人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	- 人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	- 人
前半期	- 人
後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	- 人
3月以上の停学	0人
年間計	- 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	- 人
訓告	0人
年間計	- 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	- 人	- 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	- 人	- 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。